別記様式 第２号の２（第２条、第５条関係）

崖に近接する建築物調書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １ | 建築工事の種別 | 新築・増築・改築・移転・用途変更・大規模の修繕・大規模の模様替 |
| ２ | 崖の高さ | 　　　　　　　　　　　　　　　ｍ  |
| ３ | 崖の上端又は下端から建築物までの水平距離 | 上端から　　　　　　　　　　　 ｍ |
| 下端から　　　　　　　　　　　 ｍ |
| ４　条 例 第 ６ 条 第 １ 項 た だ し 書 の 適 用 | 第 １ 号 | ア　土質・勾配及び地盤 | 土質 |  | 勾配 |  | 高さ | ｍ |
| 土質試験等及び地盤の安定計算結果：別添のとおり |
| イ　擁壁（既設） | 築　造　年　月 |  　　年　　　　月 |
| 構造 |  | 高さ | ｍ | 延長 | ｍ |
|  | 現況調査の概要 | 調 査 者 | 資　格：  |
| 氏　名： ㊞ |
| 郵便番号：〒　　　　－ |
| 住　所： |
| 調査年月日 |  　年　　　　月　　　　日 |
| 調査方法及び結果 |  |
| ウ　建築物の基礎 | 基礎の種別： |
| エ　衝撃を遮る外壁等及び門又は塀 | 崖の崩壊による衝撃が作用した場合においても破壊を生じない構造方法であること：別添のとおり |
| オ　市長の認定 | 崖又は建築物の安全上の措置の概要 |
| 第 ２ 号 | ア　区域名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　（区域番号　　　　　　　　　） |
| イ　自然現象の種類 |  |
| 政令第８０条の３に規定する構造方法又は同条ただし書の場合に該当すること：別添のとおり |
| ５許可関係 |  | 許可年月日 | 許可番号 | 検査済証年月日 | 区画証明番号 |
| (1) 都市計画法 |  |  |  |  |
| (2) 宅地造成等規制法 |  |  |  |  |
| ６ 造成工事 | (1) 切土・盛土 | 切土 | ㎡ | ㎥ | 盛土 | ㎡ | ㎥ |
| (2) 擁壁の新設 | 番号 | 構　造 | 高　さ | 延　長 |
|  |  | ｍ | ｍ |
|  |  | ｍ | ｍ |

（注）

１　１の欄は、該当するものを○で囲んでください。

２　４欄第１号については、アからオまでのうち、該当するものを○で囲んでください。

３　４欄第１号イについては、現況写真を添付してください。また、調査者が建築士の場合は、資格については一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及び登録番号を、住所については一級建築士事務所、二級建築士事務所又は木造建築士事務所の別、登録番号及び事務所の所在地を記入してください。オについては、安全上支障がないことを証する説明図書を添付してください。

４　５欄は、崖（擁壁）が許可を受けて造成されたものである場合に記入してください。

５　６欄は、造成工事を伴う場合に記入してください。(２)欄は、高さ2ｍ以下の擁壁と切土・盛土の組合せで構成される崖の擁壁について記入してください。